

古典教育 × アクティブ・ラーニング × ICT

2017年3月公示の新学習指導要領「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けたアクティブ・ラーニングの可能性と限界を模索

アクティブ・ラーニングと ICT 活用に向き合い、現代的な古典教育のための具体的な知識や指導法を提案する。「『源氏物語』でアクティブ・ラーニングは可能か」(第Ⅱ部第9章)などの定番教材を深めるものや、「技術・家庭科との教科横断型単元で日本の伝統文化を学ぶ」(第Ⅱ部第3章)など古典を実生活に見出した実践報告を収載した、新時代へ挑む現場の先生方に贈る一冊。編者は源氏物語研究の権威でもある。

アクティブ・ラーニング時代の古典教育 小・中・高・大の授業づくり

河添房江 編

A5版・並製・248頁・定価2,500円+税
ISBN978-4-901665-51-3 C3037 ¥2500E

河添 房江 (かわぞえ・ふさえ)

1953年生。東京大学文学部卒。同大学院人文科学研究科修了。博士(文学)。現在、東京学芸大学教育学部教授。東京大学大学院人文社会系研究科兼任教授。一橋大学大学院言語社会研究科連携教授。専攻は平安文学。著書に『源氏物語表現史』(翰林書房)、『性と文化の源氏物語』(筑摩書房)、『源氏物語時空論』(東京大学出版会)、『源氏物語と東アジア世界』(NHK ブックス)、『光源氏が愛した王朝ブランド品』(角川選書)、『唐物の文化史』(岩波新書)。その他に『はじめて出会う古典作品集』(全6巻、高木まさきと共監修、光村教育図書)など。

アクティブ・ラーニング時代の 古典教育

小・中・高・大の授業づくり

河添 房江 編

Active Learning &
Japanese Classical Literature Education



目次より

- 第Ⅰ部 理論編
 - 第1章 アクティブ(・)ラーニングとは何か
 - 第2章 国語科教育と情報通信技術の活用
 - 第3章 デジタル教科書の現在
 - 第4章 大学教員養成課程における国語科と情報教育

第Ⅱ部 実践編で取り扱った古典教材

昔話「かぐやひめ」、『枕草子』、『平家物語』、『大鏡』鶯宿梅、花山天皇の出家、『万葉集』志貴皇子、『枕草子』、『源氏物語』早蕨、若菜上・下巻、帚木巻「雨夜の品定め」、『平家物語』大原御幸、『史記』伯夷列伝第一、『伊勢物語』第六段「芥川」、『更級日記』
その他、文法、アクティブラーニングへの馴染みの薄さの克服など



[TEL] 042-329-7797 [FAX] 042-329-7798
[HP] <http://www.u-gakugei.ac.jp/upress>

東京学芸大学出版会

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177 TEL 03-5283-2230

書店名	部数	発行 東京学芸大学出版会 Tel.042-329-7797 Fax.042-329-7798
		『アクティブ・ラーニング時代の古典教育——小・中・高・大の授業づくり』 河添房江 編 A5判 並製 248頁 定価 [本体2,500円+税]
	冊	ISBN978-4-901665-51-3 C3037 ¥2500E

※返品条件付き注文扱い